

目標達成計画

作成日: 平成 27年 4月 30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	6	身体拘束と虐待について現状はそのような行為は行われていないが経営者・管理者・職員全体が正しく理解されているかが定かでない。	経営者・管理者・職員1人一人が身体拘束・虐待について正しく理解できるようにする。	経営者・管理者・職員全員が正しく理解できるように研修の場を設け身体拘束・虐待が未然に防げる。また、新人職員に対しても今後入社時に教育を行う。	3ヶ月
2	40	当事業所では高齢者の平均年齢が90歳を越えている状態で高齢化・重度化が進み始めているため今後嚥下機能の低下が懸念される。	高齢者の現状の嚥下機能を維持させ今以上に悪化させないようにする。	食事前に嚥下体操を行い現状の状態を維持する。	都度
3	52	以前玄関やカウンターに季節の花を飾っていたが徘徊され飾っていた花を口にする高齢者がいたため観葉植物を設置していた。	現状は徘徊される高齢者がいなくなった為玄関やホールのカウンターに季節の花や草花を飾る。	玄関やホールのカウンターに季節の花や草花を飾る事で入居者様とのコミュニケーションを図ることができる。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。